

## 夢に向かって努力する

### 成迫選手が夢の授業

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業は2月27日、南関中学校(中山直幸校長)ランテールームで講演会と同校グラウンドでハードル実演を行いました。

これは、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて興味関心を高めることを目的として開催。当日はゲストとして北京オリンピックなどに出場し、東京オリンピックを目指す成迫健児さんが講演を行いました。その後、ハードルの実演も行われ、本物の走りに歓声があがりました。

成迫さんは「なりたい自分や夢を持ち、頑張ってください」と激励。長谷川璃翔さん(相谷)は「記録が伸び悩んだり壁にぶつかったりしても、成迫選手のように頑張りたい」と笑顔で話しました。



## 希望を胸に

### 南関中学校卒業式

南関中学校(中山直幸校長)で3月10日、第32回卒業式が行われました。卒業生79人は、今までの思い出を胸に式に挑みました。

式では、中山校長が3年生一人ひとりに卒業証書を手渡し、「将来の南関町を担うのはあなたたちです」と激励。卒業生を代表し、高田宗治さん(上坂下)は「これからは積極的に自分にできることを考え、将来社会に貢献できるよう努力していきます」と、力強く語りました。式の終了後、3年生の先生に卒業生代表からメッセージとともに花束が贈られました。

卒業生たちは、保護者、恩師や在校生などに祝福されながら、希望を胸に旅立ちました。



## 地球温暖化対策に取り組む

### バイオディーゼル燃料使用車両出発式

町と(有)玉名北部環境(武田正巳取締役社長)とNPO法人くまもと温暖化対策センター(山田浩之副理事長)は2月27日、(有)玉名北部環境事務所(細永)で南関町バイオディーゼル燃料使用車両出発式を行いました。

これは、町が平成28年から「COOL CHOICE」に賛同し地球温暖化対策取り組む活動の一つとして行うもの。使用済みの天ぷら油を事業所や家庭から収集し、精製した後にバイオディーゼル燃料としてトラックなどの車両に使用されます。平成29年9月25日から平成30年2月13日まで、各施設などに設置された廃食油回収箱で、439リットル回収しました。

当日はバイオディーゼル燃料を使用したごみ収集車両の出発式が執り行われ、参列者は発車の様子を見守りました。



## 春の香りただよ商店街

### 関の初市・南関100円商店街

3月3、4日の両日、毎年恒例の「関の初市」(主催:南関町商工会南関支部)と南関100円商店街(主催:南関100円商店街実行委員会)が関町商店街一帯およびビッグオークで行われ、苗木や雑貨、食品など多くの露店が立ち並びました。

柑橘類や梅の花が爽やかに香り、同日にはフリーマーケットも同時開催されました。まちの駅「ゆたーっと」前では餅つきが行われ、買い物客の注目を集めていました。古くからの言い伝えでは、初市の風に当たると健康になり、金物を買うとその年はお金が貯まるといわれています。来場者たちは春の訪れを感じながら買い物を楽しんでいました。

## 竹の可能性を創造する

### バンブーフロンティア工場竣工式

バンブーマテリアル株式会社(山田浩之代表取締役)とバンブーフロンティア株式会社(津留克也代表取締役)とバンブーエナジー株式会社(岡田久幸代表取締役)は2月11日、バンブーフロンティア工場が完成したことに伴い、同社屋で竣工式を開催し、神事と工場の見学を行いました。

バンブーフロンティア株式会社は平成28年に設立。代表的な生産品目は、家具部材やシステムキッチン、テーブル、壁・床下地材など未利用資源である竹と、杉バークを材料として製造した南関ボードです。

今回の工場は、敷地面積が約13,000坪で総延床面積が4,020平方メートル、操業開始時期が平成30年春の予定となっています。



## あいさつは世界をつなぐ

### 二小でJICA海外ボランティア講演会

南関第二小学校(藤原伸作校長)は2月27日、JICA海外ボランティアの伊藤義博さんを招き、同校多目的ホールで講演会を行いました。

これは、国際貢献について実際の体験談を聴くことで児童たちの興味関心を深め、災害から命を守ることの大切さを伝えることを目的として開催。この日は5、6年生31人が参加し、コロンビアに派遣されたときの話などを聞きました。

伊藤さんは「世界の人たちと仲良くしていくには、元気のいい挨拶をし、自分から挨拶をしようという気持ちがあれば言葉は上手でなくてもいい」と挨拶の重要性を伝え、城戸梅花さん(豊永)は「人を助けることは大事だと思う。今後は募金したりして、今日学んだことを人に伝えていきたい」と充実した表情で話しました。



## 町へ寄付金贈呈

### 南関高等学校在京同窓会

南関高等学校在京同窓会元会長の永松秀通さんは2月8日、役場を訪問。佐藤町長に寄付金12万6千円を手渡しました。

同会は平成元年に発足し総会や懇親会などを行ってきましたが、会員の高齢化などで活動を続けることが困難になり、惜しくも平成29年5月に解散。今回は積み立てていた会費などを、新たに建設する町役場庁舎に南関高校が残るよう何かを残してほしいという願いで寄付しました。

永松さんは「地元を離れた南関高校出身者が新庁舎を訪れたとき、思い出すことができる場所を作ってほしい」と語り、町長は「今まで皆さんが続けてこられた想いを継いでいきたい」と述べました。



## 農林水産大臣賞を受賞

### たけのこ園経営管理コンクール

県は2月19日、たけのこ園を経営する経営者を対象に、平成29年度熊本県たけのこ園経営管理コンクール表彰式および研修会を行いました。

当日は8人の受賞者と佐藤町長を始めとする3人の来賓が出席。町からは猿渡一郎さん(関外目)が農林水産大臣賞を受賞しました。

今回は過去3年間で、3月までの出荷(早出し)の割合が高かったこと、伐竹の管理が優れていたことが評価され受賞となりました。町長は「日頃の伐竹作業、肥培管理などの努力のたまものが今日の受賞につながったものであり、心から敬意を表します」と述べ、その後、株式会社カッセジャパンの有元隆代表取締役社長による講演会が行われました。